

講義名	システム開発				授業形態	
担当教員	澤田 清	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 1 時限			
		単位数	2	履修開始年次	3 年生	ナンバリング・コード
主題と概要						
システム開発の各工程（基本計画、外部設計、内部設計、プログラム設計、テスト）の手法について講義する。授業の中で、基本情報技術者試験の過去問題を解く演習も行う。						
到達目標						
システム開発の自工程を理解し、システム開発に必要な基礎技術を身につけることができるようになる。						
提出課題						
授業時に問題演習を行う。						
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法						
授業時に、全体または個別に説明する。						
評価の基準						
提出課題：30%、定期試験（筆記試験）：70%						
履修にあたっての注意・助言他						
情報科学、プログラミング、コンピュータシステムの授業内容を十分理解していることを前提に授業を進める。						
教科書						
.使用しない。						
参考図書						

その他		
毎回、プリント資料を配付する。		
授業計画		
1. プログラム言語 予習：シラバスを確認し、授業に備える（60分） 復習：今回の授業内容（プリントなど）を復習し、理解を深める（180分） 2. プログラム言語処理系 予習：前回までの授業内容（プリントなど）を確認し、授業に備える（60分） 復習：今回の授業内容（プリントなど）を復習し、理解を深める（180分） 3. システム開発の手法 予習：前回までの授業内容（プリントなど）を確認し、授業に備える（60分） 復習：今回の授業内容（プリントなど）を復習し、理解を深める（180分） 4. 基本計画（1） 予習：前回までの授業内容（プリントなど）を確認し、授業に備える（60分） 復習：今回の授業内容（プリントなど）を復習し、理解を深める（180分） 5. 基本計画（2） 予習：前回までの授業内容（プリントなど）を確認し、授業に備える（60分） 復習：今回の授業内容（プリントなど）を復習し、理解を深める（180分） 6. 外部設計（1） 予習：前回までの授業内容（プリントなど）を確認し、授業に備える（60分） 復習：今回の授業内容（プリントなど）を復習し、理解を深める（180分） 7. 外部設計（2） 予習：前回までの授業内容（プリントなど）を確認し、授業に備える（60分） 復習：今回の授業内容（プリントなど）を復習し、理解を深める（180分） 8. 内部設計（1） 予習：前回までの授業内容（プリントなど）を確認し、授業に備える（60分） 復習：今回の授業内容（プリントなど）を復習し、理解を深める（180分） 9. 内部設計（2） 予習：前回までの授業内容（プリントなど）を確認し、授業に備える（60分） 復習：今回の授業内容（プリントなど）を復習し、理解を深める（180分） 10. プログラム構造化設計（1） 予習：前回までの授業内容（プリントなど）を確認し、授業に備える（60分） 復習：今回の授業内容（プリントなど）を復習し、理解を深める（180分） 11. プログラム構造化設計（2） 予習：前回までの授業内容（プリントなど）を確認し、授業に備える（60分） 復習：今回の授業内容（プリントなど）を復習し、理解を深める（180分） 12. プログラム論理設計 予習：前回までの授業内容（プリントなど）を確認し、授業に備える（60分） 復習：今回の授業内容（プリントなど）を復習し、理解を深める（180分） 13. テスト工程 予習：前回までの授業内容（プリントなど）を確認し、授業に備える（60分） 復習：今回の授業内容（プリントなど）を復習し、理解を深める（180分） 14. テストケースの設計 予習：前回までの授業内容（プリントなど）を確認し、授業に備える（60分） 復習：今回の授業内容（プリントなど）を復習し、理解を深める（180分） 15. システムの保守と開発工数の見積もり 予習：前回までの授業内容（プリントなど）を確認し、授業に備える（60分） 復習：今回の授業内容（プリントなど）を復習し、理解を深める（180分）		
授業形態（アクティブ・ラーニング）		
ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A/L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連		
到達目標を達成することは、DPの情報処理の専門的知識と情報技術を身に付けることである。		
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述		
実務経験の有無及び活用		
備考		